

## 2018 年度年次大会 熱工学部門報告

第 95 期熱工学部門年次大会委員会  
 委員長 小田 豊 (関西大学)  
 幹事 網 健行 (関西大学)

日本機械学会 2018 年度年次大会は、「多様化する社会・技術への機械技術者の挑戦」をキャッチフレーズに 9 月 9 日 (日) ~ 12 日 (水), 関西大学において開催されました。会期中には、「情報と機械の融合」, 「社会構造変化への対応」, 「革新技術への新展開」を大会テーマとして 1,180 件の学術講演発表が行われました。

熱工学部門に関連する学術講演では, 4 セッションからなる「熱工学一般セッション」において, 21 件 (伝熱関連: 14 件, 燃焼関連: 7 件) の講演発表が行われました。年次大会の特色である「部門横断セッション」については, 以下に述べるオーガナイズドセッション 8 件が企画され, 102 件の講演発表がありました。

- ・電子機器の強度・信頼性評価と熱管理 (熱工学部門, 計算力学部門, 材料力学部門), セッション数: 2, 講演件数: 8 件
- ・分散型エネルギーとシステムの最適化 (熱工学部門, 動力エネルギーシステム部門, 計算力学部門, 環境工学部門), セッション数: 1, 講演件数: 5 件
- ・低炭素社会実現への礎: 燃料電池・二次電池とナノ・マイクロ現象 (材料力学部門, 流体工学部門, 熱工学部門, 計算力学部門, 動力エネルギーシステム部門, マイクロ・ナノ工学部門), セッション数: 3, 講演件数: 16 件
- ・乱流における運動量, 熱, 物質の輸送現象およびその応用 (流体工学部門, 熱工学部門), セッション数: 4, 講演件数: 22 件
- ・マイクロ・ナノスケールの熱流体现象 (流体工学部門, 熱工学部門, マイクロ・ナノ工学部門), セッション数: 4, 講演件数: 22 件
- ・熱・流れの先端可視化計測 (流体工学部門, 動力エネルギーシステム部門, 熱工学部門, バイオエンジニアリング部門, エンジンシステム部門), セッション数: 2, 講演件数: 11 件
- ・交通・物流機械の自動運転 (交通・物流部門, 機械力学・計測制御部門, 技術と社会部門, 機械材料・材料加工部門, 流体工学部門, 産業・化学機械と安全部門, 設計工学・システム部門, 法工学専門会議, ロボティクス・メカトロニクス部門, 熱工学部門, スポーツ工学・ヒューマンダイナミクス部門, 生産加工・工作機械部門), セッション数: 2, 講演件数: 9 件
- ・医工学テクノロジーによる医療福祉機器開発 (医工学テクノロジー推進会議, 機械力学・計測制御部門, 流体工学部門, 計算力学部門, バイオエンジニアリング部門, ロボティクス・メカトロニクス部門, 情報・知能・精密機器部門, 材料力学部門, 熱工学部門, マイクロ・ナノ工学部門, 機素潤滑設計部門), セッション数: 2, 講演件数: 9 件

熱工学部門では, 例年通り熱工学部門に関連する講演に対して「若手優秀講演フェロー賞」の審査を行い, 評価フォームによる採点を行っております。審査を行うにあたりご協力を賜りました多くの先生方には, この場をお借りして御礼申し上げます。

恒例の部門同好会は, 流体力学部門, 計算力学部門および材料力学部門との合同で, 9 月 10 日夕方に関西大学生協で開催され, 合計 36 名の参加を頂き, 大変盛況でした。

最後になりましたが, 年次大会の企画・運営にご尽力いただきましたオーガナイザー, 講演者, 座長の皆様に厚く御礼申し上げます。2019 年度に秋田大学で開催されます年次大会では, さらに多くの皆様のご参加を賜り, 研究交流と親睦を深めて頂けますよう祈念致しております。



2018 年度年次大会総合プログラム表紙